

平成 29 年九州北部豪雨災害にあたって

7月5日から6日にかけて九州北部地方に甚大な被害をもたらした豪雨災害によって犠牲となられた方々に対し、深く哀悼の意を表します。

不条理にも、多くの方々の、かけがえのない命が失われたことは、到底受け入れられることではありません。御遺族の皆様、心よりお悔やみを申し上げます。

また、被害に遭われた全ての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。恐怖と不安が去ってゆき、心と暮らしの平安がおとずれますことをお祈りします。

既に被災地では、復興に向けた作業が懸命に続けられています。小・中学校を中心に避難所が開設され、学校では、被災された方々を迎えられ、昼夜を分かたずその対応に尽力されていることでしょう。一刻も早い復興が実現するとともに、子供たちや教職員にとって安心して学校生活を送る日常が、一日も早くかえって来るよう願います。

被災地域に再び子供たちの笑顔が溢れ、学校、家庭、地域が明るい未来を生きるための豊かな学びの場に戻ることを願います。

平成 29 年 7 月 10 日

全日本教職員連盟委員長 郡司 隆文